

豚

BUTA NO

の

MUKUI

報

YOHICHI SAI

の



ナンセントシネマワークス第1回製作
崔洋一監督作品



神様になった
とうちゃんなら、
あなたたちを
救える。

豚小屋
生まれの
男と
めげない
女たち、

三泊四日の
厄払い
珍道中。



【原案】
小津安二郎
早坂野史
あゆみくら
上田貞吉
岸部 隆
岸部 徹
【監修】
ナンセントシネマワークス
アキコ
【脚本】
アキコ
【演出】
崔洋一
【音楽】
神宮寺正樹
【衣装】
花房 美穂
【ヘアメイク】
サトウチキコ
【編集】
三井 浩
【美術】
三井 浩
【監督】
崔洋一



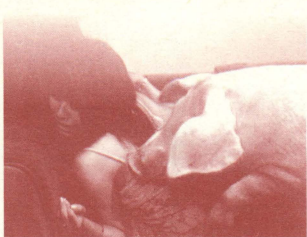
【制作】
フジテレビ
【企画】
柳頭武典
【協力】
フジテレビ
甲斐昌樹
【宣伝】
又吉栄吉「豚の報」
【文芸春秋】
柳義典 指揮
【音楽】
依々木 宏 演奏
【美術】
金沢 正夫
【編集】
細井 正次
【監製】
磯貝 隆裕
【監製】
大黒 昌



崔洋一
監督作品

豚の報い

すべては、
豚の出現から始まった。



神の島へ(真謝島)の豚小屋で生まれた正吉は、十九才の大学生。心に癒せない傷を持つスナヅクのネーネー(お姉さん)たち、ミヨ、暢子、和歌子。店にいた彼らの元に、ある日突然、豚が飛び込んできた。豚に襲われた和歌子は、マブイ(魂)を落として(氣を失った状態になつ)てしまふ。正吉は、和歌子のマブイ込めのために、真謝島のウツキ(神)降りてくる神聖な場所へ行き、ウガン(祈りと捧げること)としようかとネーネーたちに持ちかける。そして、四人の神の島の旅が始まった。この物語は、すべてが豚によつて導かれる、ユーモアとエネルギーに満ち溢れた幻想譚である。



正吉は、十二年前に海で死に、島の風習で風葬されている父の骨を拾おうと考へて、島に着いた正吉は、風葬地を探して回り、遠く記憶の彼方にある父の存在を確かめようとする。そうとは知らない、ネーネーたちは、酔つて騒ぎ、まるで豚のように豪快に食へ、挙げ句の果ては豚の肝にわたつて寝込んでしまふ。しかし、そんなネーネーたちにも、過去の過ちをウガンで削ぎ落とし、救われた、という想いがあつた。正吉は、お騒がせなネーネーたちに振り回されつゝも、元気に逞しく生きてゐる彼女たちの心のうちを知ることで、生きるこの尊さを学んで、いゝ。また、ネーネーたちも、正吉に過去を語ることで心が軽くなつて、いゝ。この旅が、皆を次第に、家族にも似た不思議な連帯感で結んで、いゝのだつた。

〈父〉を探す男と、 救われた女たち。



神と豚と人間の 同居する島。

「死んだ人が、神様になる」と言われている沖縄では、神は人々の暮らして密接な関係で結びついている。それは、宗教的な観念というよりも、深く生活のなかに根付いたものである。また、豚はお祝い事、普段の食事で必ずといっていいほどよく登場する。食卓に欠かさない存在であると同時に、神聖なものとして崇められても、この物語の舞台、〈真謝島〉は、聖なるものと俗なるものが混じり合い、神と豚と人間とが同居する島として描かれている。実際には存在しない架空の島だが、沖縄で最初に神様が降りてきた島として名高い〈久高島〉がモデルとなつている。この島は、古代信仰が各島々に色濃く残っている沖縄の中でも、特に厳肅で神秘的な島として知られている。本作に登場する島のシーンは、すべて実際に久高島でロケーション撮影されている。

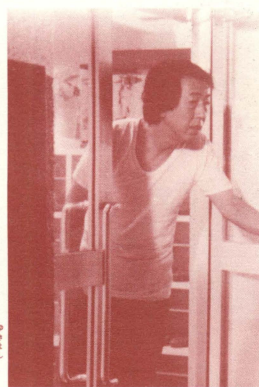


原作は、沖縄という固有の風土で生きる人々の力強さ、陽気さ、ひたむきさを描き、九八年に芥川賞を受賞した又吉栄喜の同名小説。この原作の世界に、崔洋一が、得意とするユーモアや猥雑さに加え、今回はさらに静謐さをも兼ね備えた演出で挑んでいる。過去に『友よ、静かに眠れ』『A サインデイズ』など、沖縄を舞台にした作品を発表してきた崔監督の、沖縄の熱い思いの集大成といえよう。



この映画を彩る人々。

主人公の正吉には、映画初主演の小澤征悦(父親は世界的指揮者の小澤征爾)。新人とは思えない圧倒的な存在感で、大人になろうとする青年の心の機微と、見事に演じている。彼を翻弄するネーネーたちには、沖縄出身の早坂好恵、あめくみちこ、沖縄で活躍する上田真弓がそれぞれ扮し、沖縄のバイタリティ溢れる女性さのびやかに表現している。また、岸部一徳が島の医者役をひょうひょうと演じる他、吉田妙子、平良進、仲嶺真永、島正廣ら、沖縄芝居のミララン、若手が脇を固めている。



今夏、ロードショー公開!

- 前売特別鑑賞券 1,500円発売中! (当日一般 1800円の処)
- 劇場窓口、東映、阪神、阪急、エストPG、チケットセゾン、チケットぴあにてお求め下さい。
- ※劇場窓口にてお求めの方に、ポストカード(限定)プレゼント!

梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル梅田

上映日程については劇場までお問い合わせください